

地形を生かして流雪溝を整備。冬期間2mを超す雪の中で住民参加により快適なまちとする努力を行っている。また、雪まつりには毎年27万人が訪れている。



市街地でも積雪が二・五メートルに達する新潟県十日町市にとって、冬季の道路交通の確保は市民生活のあらゆる活動を左右する大きな課題である。消雪パイプを敷設しても、あまりにも降雪量が多いため、豪雪時にはほ



んど効果がない。そこでこの解決策として、信濃川に続く河岸段丘上にあるという地形を生かし、流雪溝を整備して地域の人々の相互の協力により雪の処理を行う方法がとられている。流雪溝は主に市内の

データボード⑦⑤

- ① 新潟県十日町市千歳町3-3
- ② 十日町市役所 ☎0257-57-3111
- ③ 延長32.5km、幅員5~18m
- ⑤ 雪まつり、ちんころ市

目抜き通りに設置され、計画延長は三二・五キロ、うち九・四キロが施行済（六二年四月現在）である。中小河川の田川よりくみ揚げた水を時間を決めて通水し、これに合わせて各地区住民が雪おろし、流雪溝への投入を行っている。管理運営については、市民による流雪溝運営委員会が設けられている。十日町市は昭和五六年に克雪都市宣言を行い、この宣言のもとに街づくりを活発に進めている。また毎年二月の雪まつりをはじめ多くの観光客を集めるイベントも活発に行っているが、これらの営みも街を縦横にめぐる流雪溝と住民の「よりよいまちをつくらう」という意志によって支えられているのである。